



10月16日～10月31日の活動報告

●西日本経済協議会（西経協）総会

【日時】10月8日(火) 14:00-17:30

【場所】岐阜県下呂温泉

【テーマ】「強靱で魅力に溢れる地域の創成を目指して～未来を拓く西日本からの提言」

【参加】176名



中部（幹事）、関西、四国、九州、中国、北陸の6つの経済連合会で構成する西日本経済協議会は、第66回総会を開催した。

金井会長は、北経連の取組みとして、集中豪雨の被害対策も含めて、能登の復旧・創造的復興に取り組んでいること、北陸新幹線の敦賀・大阪間の来年度末までの事業計画の認可・正式着工、全線開業までの可能な限りの工期短縮を政府に求めていくことを報告し、関西経連等への連携を呼びかけた。

総会では、イノベーション促進による成長産業の創出、GX実現に向けた取り組み推進などを求める決議を採択し、11月下旬までに政府に対する要望活動を実施する予定。（担当：高畠）

●とやま環境フェア出展

【日時】10月12日(土)～13日(日)

【場所】テクノホール（富山産業展示館）

北陸環境共生会議は、とやま環境フェア 2024に出展し、小中学生を対象に「楽しくECO!地球に

やさしい電気をつくろう!」と題した体験教室を開催した。訪れた親子は、ハンディライトの組立て、手回し発電で動くぬいぐるみレース、クイズを楽しみながら、再エネ等の環境問題に触れる機会になって良かったと話していた。



【北陸環境共生会議】北陸三県と北経連で構成（北陸電力(株)協力）。北陸地域の環境問題に取り組む。

（担当：宮下、森岡）

●フィンランド経済視察

【日時】10月12日(土)～20日(日)

【場所】フィンランド ヘルシンキ市、タンペレ市

【参加】17名(団長 金井会長、副団長 稲垣副会長) 北欧フィンランドに経済視察団を派遣した。

これは、同国が次々とイノベーションを起こし、世界幸福度ランキング1位を7年連続で記録した背景等を探るとともに、「ウェルビーイング経営」、「GRP向上」、「脱炭素」、「産官学連携によるスタートアップ創出・育成」、「サステナビリティ・DE&I」等の先進的な取り組みと考え方を体感し、会員企業の経営改革や生産性向上に繋がる新たな視点を得るため実施したもの。(北経連の次期中期アクションプラン策定に資する知見を得ることも目的の一つ)

視察では、フィンランド通商局、ヘルシンキ市通



商局、タンペレ市通商局、国立ヘルシンキ大学、国立技術開発センター、スタートアップ支援施設、ヘルシンキ市電力会社、タンペレ市商工会議所、関連大手民間企業など、19の機関や企業と面談・視察し、先進的な取り組みと最新の動向について学ぶ貴重な経験ができた。

今回は、駐日フィンランド大使館商務部の全面的協力・支援のもと多くの企業・団体を訪問でき、岡田駐フィンランド日本大使やフィンランド日本商工会議所にも現地の政治・経済情勢、事業環境について直接聞くことができ、大変実りある、有意義な視察となった。今後、本視察での学びや成果を会員間で広く共有し、各事業活動に活かしていきたい。

（担当：小島・宮原）

●北陸技術交流テクノフェア 2024 出展

【日時】10月17日(木)～18日(金)

【場所】福井県産業会館

【来場者数】約19,000人

【主管】福井商工会議所(北経連は実行委員会参画)

北陸技術交流テクノフェアに北陸産業活性化センター(HIAC)、金沢工業大学と出展し、北経連は高シェアを有する北陸のものづくり企業を紹介する冊子「北陸のシェアトップ150」等を配布した。

HIACは「新事業創出助成」事業を、金沢工業大学は「VR型チェアスキーシミュレータの開発」等を紹介し、ブース訪問者と交流した。

（担当：松木、坂井）



●北陸国際投資交流促進会議（企業誘致） Japan IT Week 秋 出展

【日時】10月23日(水)～25日(金)

【場所】幕張メッセ

北陸三県と北陸電力(株)・北経連で構成する北陸地域企業誘致連絡会（北陸国際投資交流促進会議）は、「Japan IT Week 秋 2024」に出展した。



IT関連企業を対象に、北陸の立地環境、支援制度、働きやすさ・暮らしやすさを訴求し、北陸地域への企業進出を提案した。北経連は、新幹線の開業状況、産業分野への支援等を紹介した。

今回、企業側から聴き取った課題や要望を今後の誘致活動の一助としたい。（担当：酒井、森岡）

●ベトナム政府 幹部研修生受け入れ

【日時】10月24日(木)～25日(金)

【場所】富山市、中村留精密工業(株)

北経連と北陸AJECは、政策研究大学院大学、ベトナム共産党中央組織委員会とJICA間の戦略的幹部研修プロジェクトとして、短期研修生（中央・党の局長級）17名、専門幹部5名等、総勢34名の受け入れに協力した。

まず、富山市役所で美濃部副市長らに迎えられ、同市の公共交通を軸としたコンパクトシティ戦略による都市経営の構築とその深化型市民中心・データ駆動型スマートシティに関する研修を受講した。

翌日は、石川県の中村留精密工業(株)を訪問し、深





山取締役管理本部長らの案内で、AGV導入の新工場をはじめ、工場・設計研究部門を視察した。

今回の研修生は同国の政策立案者等の専門家であったため、大変熱心な議論が交わされ、政策研究大学院大学 高田副学長、工藤教授、研修生からも、有意義な機会であったと謝意が示された。

(担当：小島・成瀬)

●第11回関西・北陸交流会

【日時】10月25日(金) 15:30-17:40

【場所】グランフロント大阪

【参加】約150名

第11回関西・北陸交流会が開催され、両地域の産学官関係者が集い、「『新幹線がつなぐ、進化する関西・北陸』～万博と北陸新幹線延伸で、関西・北陸にもっとかがやく未来を～」をテーマに基調講演が行われた。関西経済連合会の松本会長、大阪商工会議所の鳥井会頭、関西経済同友会の宮部代表幹事、北経連からは金井会長が挨拶した。

金井会長は、今年3月の北陸新幹線金沢・敦賀間の開業効果や敦賀・新大阪間の全線開業の必要性に加え、太平洋側有事の際の首都圏と関西圏を結ぶ代替機能等について説明し、関西の経済団体等との緊密な連携のもと、早期全線開業に全力で取り組む決意を述べた。

(担当：落合)



今後の行事予定

◆経団連との第51回北陸地方経済懇談会

【日時】11月20日(水) 14:20-

【場所】懇談会：のと楽(和倉温泉) オンライン併催
懇親パーティー：ホテル日航金沢

【テーマ】能登地域の創造的な復興に向けて

【対象】全会員 (担当：鳥山)

◆会員懇談会(全会員対象、オンライン併催)

●富山会場

【日時】11月25日(月) 14:30-18:00

【場所】富山電気ビル

【テーマ】カーボンニュートラル

●福井会場

【日時】2025年2月4日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井(ザ・グランユアーズフクイ)

【テーマ】ダイバーシティ&インクルージョン

(担当：浅井)

【参加者募集】新たな価値創出講演会 「スギノマシン流のDX取組による 競争力強化」(仮題)

スギノマシン社(富山県滑川市)がDXを生産性向上や経営改革に活かした事例を紹介します。

【日時】12月3日(火) 14:00-15:00

【形式】オンライン(Microsoft Teams)

【講師】(株)スギノマシン 執行役員 RI 事業部長
博士(工学) 大西武夫氏

【対象】北経連会員(各団体複数名参加可)

【申込】11月25日(月)まで右QRコード

または下記URLから申込

<https://forms.office.com/r/a2fn0GCTdq>

【詳細】[https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/986](https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/98651d0e8813cf99d05936f623c0f14e.pdf)

[51d0e8813cf99d05936f623c0f14e.pdf](https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/98651d0e8813cf99d05936f623c0f14e.pdf)

(担当：松木、坂井)



◆第2回 海外現地情勢報告セミナー

【日時】12月16日(月) 16:15-17:30 (予定)

※同日の第1回国際委員会終了後に開催

【場所】ホテル金沢 (オンライン併催)

【講師】(一社) 日中投資促進機構

代表理事・事務局長 岡豊樹氏

【演題】中国の社会構造変化を見据えた事業再構築について～北陸地域の中国現地法人の課題から～ (仮題)

【申込】<https://forms.office.com/r/3fAb0GZLyj>

◆委員会 (全てオンライン併催)

●人財活躍推進委員会

【日時】12月2日(月) 12:00-14:00

【場所】金沢ニューグランドホテル

●新たな価値創出委員会・講演会

【日時】12月3日(火) 12:00-15:00

【場所】ANA クランプラザホテル金沢

●観光委員会

【日時】12月5日(木) 12:00-14:00

【場所】金沢ニューグランドホテル

●社会基盤委員会

【日時】12月9日(月) 12:00-14:00

【場所】ホテル金沢

●総合対策委員会

【日時】12月13日(金) 12:00-14:00

【場所】ホテル日航金沢

●国際委員会

【日時】12月16日(月) 15:00-16:00

【場所】ホテル金沢

お知らせ

■カーボンニュートラル BASE 北陸 (CNBH) カarbonニュートラル (脱炭素) に関するコンテンツを募集

カーボンニュートラル BASE 北陸では、CNに関する商品やサービス等のコンテンツ情報を「見える化」し、ビジネスマッチングに繋がります。

【掲載主体】北陸三県内、または北陸にゆかりのある企業・自治体・学校などの団体

【掲載内容】団体名、コンテンツ分類、PR コメント、ホームページリンク

【申込】<https://forms.office.com/r/PVhsNgzp24?orig=rigin=lprLink>

【その他】掲載無料 (担当：宮下)

■地銀・DBJ・三井住友信託銀行共催 北陸地域脱炭素セミナー

～企業価値を維持・向上するための脱炭素経営～

北陸地域のCN促進を目的として、サステナブル金融の専門家による基調講演、脱炭素に向けて先駆的な取組みを進める北陸企業の担当役員によるパネルディスカッションを通じて、北陸地域のCN達成に向けた現状と課題について議論を深めます。

【日時】11月19日(火) 15:00-17:00

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/2016.html>

【申込】https://smtb.au1.qualtrics.com/jfe/form/SV_cuReGH1mjLqFrw2 (担当：宮下)

■総務省 北陸総合通信局からのお知らせ

北陸地域 ICT イノベーションセミナー2024

【日時】11月18日(月) 13:30-16:35

【場所】金沢東急ホテル (オンライン併催)

【内容】

・石川県広域データ連携基盤(IDCP)の機能紹介



- ・データ利活用による国内外のスマートシティ実現事例
- ・国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の産学連携の取り組み
- ・次世代型復興モデルの構築による迅速な生活再建の実現~高松市をモデル地域とした取り組み~

【主催】北陸総合通信局(北経連後援)

【詳細】https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2024/pre241022_01.html

【申込】11月14日(木)までに下記から申込

<https://forms.office.com/r/UL1ijDjISu>

【問合せ】北陸総合通信局 情報通信部

電気通信事業課 TEL:076-233-4421

Mail:hokuriku-jigyo_seisaku@soumu.go.jp

(担当:松木、坂井)

■北経連 人事担当者のための男性育休講座 講義資料をダウンロードできます

9月26日に「人事担当者のための男性育休講座」を開催しました。ご好評につき、当日の講義資料を特別にご覧いただけます。

【資料】[資料請求フォーム](#)

講師を務めたワーク・ライフバランス社の提供する申込フォームに必要事項を入力すると、資料ダウンロードを案内するURLがメールで送られてきます。

【期限】11月30日(土) (担当:日野)

■(一財)北陸産業活性化センターからのお知らせ 「Hokuriku Innovation Summit~北陸のプロダクトイノベーションを加速する~」

【日時】12月10日(火) 13:30-16:30

【場所】ホテル金沢 4階エメラルド

【内容】

- ・講演「失敗学の権威が語る~リスクもチャンスも違和感を起点に始まる~」

東京大学名誉教授 中尾政之氏

- ・パネルディスカッション「北陸地域からのプロダクトイノベーションの推進に向けて」

- ・北陸地域のプロダクトイノベーション創出についての意見交換を通じて交流を深めます

【主催】北陸産業活性化センター・(株)RICH
(北経連後援)

【詳細・申込】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/6a8ccf11cae065623da8b72bbe562cea.pdf>

【問合せ】北陸産業活性化センター 担当:福井
TEL:076-264-3001 (担当:松木、坂井)

■中小企業基盤整備機構からのお知らせ 大阪・関西万博「未来への挑戦メッセージ」 の募集(国内中小企業が対象)

中小機構が設けるエリアと特設サイトで、国内の中小企業の取り組みを紹介。それぞれが実現したい未来社会像とその実現に向けた挑戦や意気込みを各社のメッセージに乗せて発信します。

【申込期間】10月24日~2025年1月6日

【対象】国内中小企業(募集要項参照)

【掲出】2025年10月3日(金)~10月7日(火)
会場内および中小機構万博特設サイト等
(中小機構がメッセージなどを預かり、
万博協会と調整しながら展示・発信。)

【募集数】1,000社程度(無料)

【募集要項・応募】<https://expo2025.smrj.go.jp/message/>
応募〆切:2025年1月6日(予定)

【問合せ】『中小企業の魅力価値発信』事務局

Mail: expo-chusho@tsp-taiyo.co.jp

(担当:坂井、松木)

以上